



# いちようっ子

～夢いっぱい 笑顔いっぱい 共に生きるいちようっ子～

<学校教育目標> 児童数445名

[強く] 自信をもち、心身ともに鍛える子

[正しく] 深く考え、進んで学ぶ子

[美しく] 思いやりがあり、感動する子

## 「自分の命は自分で守る」意識をもって

校長 大澤 紀子

新緑のまぶしい季節となり、いつしか初夏の陽気となりました。

新しい学年となり、3週間が過ぎました。1年生もしだいに学校生活に慣れ、元気にのびのびと生活できるようになってきました。どの学年児童も、みんな意欲をもって勉強や運動に取り組んでいる姿が見られ、明るい笑顔があちらこちらで輝いています。

私は、今年度異動してまいりましたので、鴻巣北小の学区のことで分からないことが多く、登校時間にいろいろな地区の登校の様子を見に行っています。そんな中で、次のようなことを強く感じました。

鴻巣北小の学区の特徴として、

- ・交通量の多い国道、県道があり、それを横断したり歩道橋で渡ったりして登下校をしている。
- ・踏切を渡って登下校している。
- ・道幅が狭い道路が多く、その狭い道路を車がスピードを出して通過していく時がある。

などがあり、交通事故の危険性のある場所が多いということです。学区内を初めて歩いてみて、「ここは危ないなあ」と、感じる場所がたくさんありました。

子どもたちの笑顔があふれる学校を作りたいと願う一番の土台は、子どもたちの「命」をしっかりと守ることです。鴻巣北小の子どもたちは、この地域の環境に慣れているかもしれませんが、年度始めのこの時期に、もう一度しっかりと「交通安全」という意識をもってほしいと感じ、5月の全校朝会で話をする予定です。

また、4月には、避難訓練を2回行いました。1回目は、新しい教室からどのように避難すればよいか、いざという時にどのような行動をとればよいのかということ学びました。2回目は、休み時間に予告なしでの避難訓練をし、どこにいても適切な避難行動がとれるように訓練をしました。子どもたちは真剣に取り組みましたが、今後も、災害時の行動や意識について、継続して指導していかなければなりません。

このように、いくつか課題はありますが、鴻巣北小の地域の素晴らしいところもたくさん見つけました。何より素晴らしいのは、地域・保護者の方が子どもたちの様子を温かく見守ってくださっているということです。登校時は、多くの方がいろいろな場所で、子どもたちの登校の様子や車の通行の様子を見守り、指導したりしてくださっています。本当に多くの方が関わってくださり、ありがたいと思うとともに、地域の「安全」への意識が高いのだなと感じています。

子どもたちには、「自分の命は自分で守る」という意識を、交通安全や防災の面はもちろん、生活の様々な場面で継続的に指導していく必要があると思っています。また、学校は地域の避難所になるという意識ももち、職員全員で危機管理意識を高めていきたいと考えています。これからも地域・保護者の方と連携して子どもたちの安全を守り、健やかな成長のために尽力していきたいと思っております。

